

1人1台端末の効果的な活用に向けた取組  
～児童の主体的な活動を積極的に支援するために～

越前市北新庄小学校

1 取組の概要

本校は、昨年度に引き続き「主体性」のある児童の育成を柱に研究に取り組んでいる。「主体性」のある児童を育成するための目標の一つとして、『学ぶ力を身に付ける授業づくり』をすること、さらに児童の学ぶ力については、次のような姿を全教職員で共通理解している。

授業や諸活動において

自らが課題を見つけ

必要となる手段や方法を選び

目的（ゴール）にたどり着くことができる

本校がめざす「主体性」のある児童を育成するために、児童の主体的な活動を全教職員が積極的に支援することとした。具体的には、授業や諸活動において次の2つのポイントを意識することを共通理解した。

- (1) 児童の主体性を発揮できる場（児童に決定権をもたせる場面）を設定する。
- (2) 児童同士の意見や考えを伝え合ったり、話し合ったり、学んだことを発信したりする自己表現の場を仕組む。

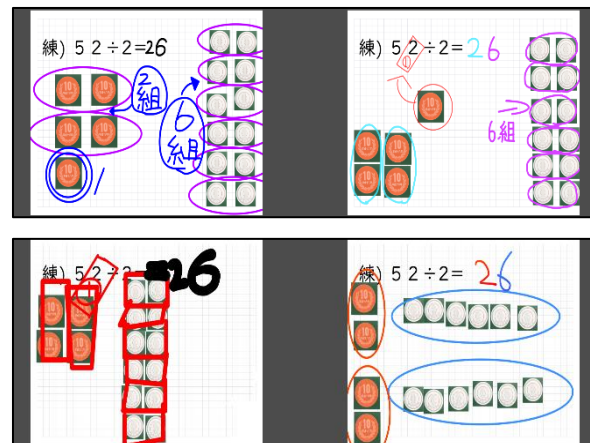
ICT・1人1台端末を学びの道具の一つとして、諸活動や授業において効果的に活用すれば、児童の「主体的・対話的で深い学び」につながり、本校がめざす「主体性」のある児童が育成できるだろうと考え、全教職員で実践に取り組んだ。

以下、実践例とその成果について述べる。

2 実践例とその成果

○授業での実践例（個人シート）

わり算を暗算で考えるとき、文字や図等を自分で書き込んだり動かしたりして操作するワークシートを MetamojiClassroom で配付し活用した。操作は自分の考えに沿って行うため、自分で決定しながら学びを進めていくことができる。操作すること



4年生算数「1けたでわるわり算の筆算」



### ○学校行事での実践例(オンライン)

4月当初、コロナ禍の影響で学年間の交流があまりできなかった時期に、新1年生を迎える会として、「ようこそ1年生」オンライン集会を実施した。6年生が主体となって会を進行し、新1年生が自己紹介をしたり、各学年の教室からお祝いメッセージを届けたりした。自己紹介では、各学年の教室のスクリーンに新1年生のかわいい様子が大きく映るので、顔や名前が覚えやすく有効であった。

